

かけはし

秋田県立大曲支援学校

生徒指導部報

第4号

令和7年9月

暑かった夏休みが終わり、2学期が始まりました。少しずつ朝晩の気温も涼しくなり、秋の気配が近づいてきています。日の入りの時刻も早くなってきました。日没により暗くなってくると、交通事故や犯罪が増加する傾向があります。暗くなる前の帰宅や、自転車に乗る人は早めのライト点灯をするなど、身の安全を守る行動を心掛けましょう。

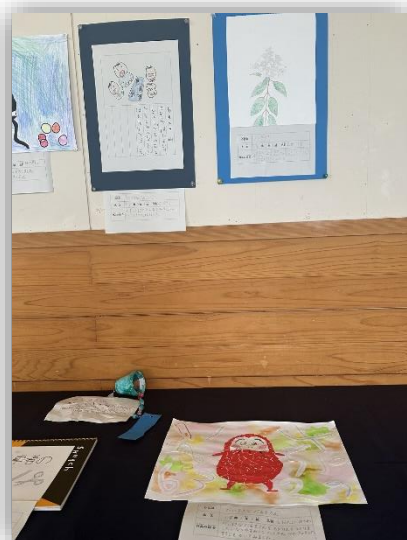
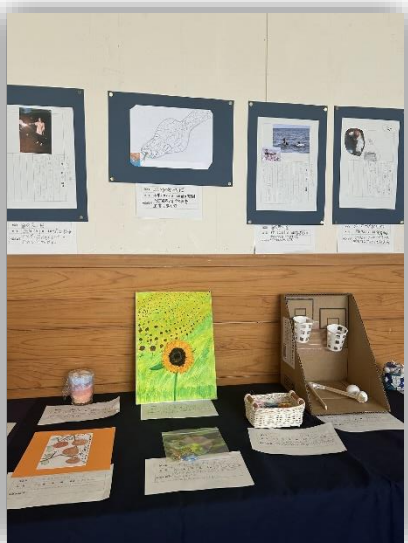
2学期は行事の多い学期となります。身の安全を守ったり、体調管理に気を付けたりしながら、充実した日々を過ごせるようにしましょう。



～夏休み作品展～

8月27日（水）～9月5日（金）の期間で、夏休み作品展が開催されました。今年度は、全44点の応募がありました。絵や風鈴、キャンドルなど、個性豊かでキラッと光る作品がたくさんありました。作品展を鑑賞したみなさんから、たくさんの感想も寄せられました。

出品していただいた児童生徒のみなさん、感想を書いてくださった児童生徒のみなさん、ありがとうございました。



クマ対策について 職員研修会を行いました！

8月4日（月）、秋田県生活環境部 自然保護課 鳥獣保護管理チーム ツキノワグマ被害対策支援センターの早坂萌さんを講師にお迎えして、「クマとの事故を避けるために」というテーマで職員研修会を行いました。スライドを使ってクマの生態を学んだり、実際のエピソードを聞いたりしながら、クマが近付かないようにするための環境づくりや、クマに遭遇した場合の回避方法について学びました。その時の様子を紹介します。



実例を交えた早坂さんの講話



実物のクマの毛皮や頭骨、糞など



校長「冬眠しないクマもいますか」→ 早坂「食べ物があると冬眠する必要がなくなり、冬眠しないクマがでできます」

☆☆☆クマとの事故を避けるために☆☆☆

①クマにばったり出会わないようにする

- ・音を出す（クマ鈴、ラジオ等：人間の位置を知らせる）
- ・一人にならない
- ・ヤブに近付かない
- ・明るいうちに帰る

◎保護者と一緒に通学路を確認しよう（ヤブの場所、非常時に駆け込める場所などの確認）

②それでもクマに会ってしまったら

- ・ゆっくり後ずさりして距離をとる
- ・絶対に走らない
- ・近くの家に助けを求める
- ・街中の場合は、クマとの間に塀や電柱をはさむ

③もしもクマが近付いてきたら

- ・顔や頭を守る（うつ伏せになり、ダンゴムシのポーズ）

◆クマが近寄らない環境づくり

- ・ヤブの草刈り
- ・伐採可能な力キやクリの整備